

## 安全・安心な食肉の供給を

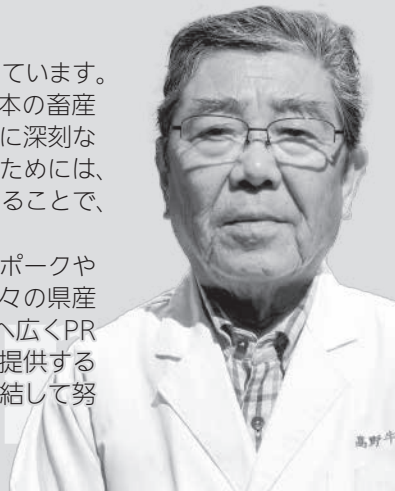
当組合は、流通の近代化・合理化を進め消費者に食肉を安定供給するため、当時設立されていた甲府食肉組合、峡東食肉組合、郡内食肉組合及び大月食肉商業組合の食肉販売業者による連合会として昭和43年に設立されました。

国民の食生活は大きく改善され、最近では食品に対するニーズの多様化や健康志向の中で、消費者の食肉に対する品質や安全性への関心が高まっています。当組合では、こうした社会状況に対応するために、生産者から消費者まで顔の見える関係を構築し、「食肉の安全・安心」の確保のための各種講習会などに取り組んでいます。また、食肉の正しい知識の普及や消費拡大のための情報提供に努めており、その一つとして、県内各地で開催されるイベントに参加し、「県産食肉の安全・安心」などのPR活動を展開しています。

最近では、大型量販店との競合、人材確保、後継者難や経営者の高齢

化など食肉店を取り巻く経営環境は非常に厳しいものとなっています。更に、TPPが発効されると海外からの輸入食肉が増大し、日本の畜産の仕組みでは内外価格差を克服することが難しく、国内生産に深刻な影響を与えることが懸念されます。こうした動きに対応するためには、ブランド化や畜産物の安全性、食味の優位性等をアピールすることで、競争力を付け、消費者を獲得することが必要です。

本県には甲州牛をはじめ、甲州ワインビーフ、甲州富士桜ポークや甲州地どりなど、豊かな自然の中で丹念に育てあげられた数々の県産ブランドの食肉があります。こうしたブランド食肉を県内外へ広くPRし、「安全安心で美味しい」お肉をお届けし、豊かな食生活を提供する組織として消費者からの信頼を高めるため、組合員が一致団結して努力を重ねていきたいと思っております。



高野 修一